

H24年度

手話奉仕員養成講座 入門課程 修了しました！



↑受講生と講師のみなさま♪

6月13日から10月31日までの全20回、手話奉仕員養成講座を開催しました！
手話とは、みなさんご存知の通り、聴覚障がいを持つ方とのコミュニケーション手段の一つです。では、**手話奉仕員**とは・・・？

手話奉仕員は、地域に住む聴覚障がい者のよき理解者として、例えば地域で会ったときに手話であいさつや世間話をしたり、防災訓練のときに声を掛け合ったり・・・「これが手話奉仕員の活動！」と決められているものではありません。聴覚障害を持っていても、安心して地域で生活できるための活動＝手話奉仕員の活動であると考えています。

こんな活動があったらいいな・・・というご意見などあれば、支援センターふえふきまでお寄せください♪

連絡先

笛吹市社会福祉協議会

障害者地域活動支援センターふえふき

TEL 055-263-1777

FAX 055-263-1769

MAIL shien07@fuefuki-shakyo.or.jp

～受講生の皆様からの声～

笑顔が素敵な渡辺さん！

コミュニケーションの基本は、笑顔？ですね☆

渡辺さん

手話での会話は難しいけど、とても楽しく手話を学ぶことができました。単語をたくさん覚えて、会話ができるように頑張ります♪

今回の講座唯一の男性受講者！

ユーモアあふれる感性が光っていました☆



中川さん

職場で手話を使う人がいて、会話ができたらいいな・・・という思いがきっかけで始めました。この講座がきっかけで、手話ができなくても身振りや伝えようという気持ちがあれば伝わることを知ることができました。



「手話」

頑張り屋さんで覚えるのが早い！

仕事も手話の勉強も、頑張っています☆

めぐみさん

初めて手話を勉強し、難しかったけど、楽しかった。これからもたくさん勉強してできるようになりたいです。



☆ 手話ができないと聴覚障がい者と会話ができないと思っていたけど、この講座がきっかけで、ジェスチャーなどでも伝わることを知ることができてよかった。

☆ 手話ができなくても、身振りや表情などでも伝わることを知った。

☆ 単語を覚えていないと手話ができないと思っていたけど、伝えたいという気持ちが大切だということを知った。



☆ 手話は暗いイメージ・・・と思っていたけど、講師のみなさんがとてもユーモアだったので楽しく学ぶことができました。



～閉講式の様子～



笛吹市社会福祉協議会
宮嶋事務局長より



笛吹市社会福祉協議会
障害者地域活動支援センター
古屋所長より



手話奉仕員養成講座は、ろう者の「手話を覚えてほしい」という気持ちから始まりました。(S45年～)

ろう者は、手話で「こんにちは」「元気ですか」などの日常的なやりとりや「自分の名前は〇〇です」と自己紹介してもらえるだけでも嬉しいです。人は一人では生きて行けません。人との関わりを持つことで生きています。そのためにはコミュニケーションが必要で、そのコミュニケーション手段の一つとして手話があるのです。手話は聞こえない人にとっての言語です。

一人でも多くの方に手話を覚えて欲しいと思います。